

# 例会報告

2月は「世界理解月間」です

第2235回例会報告議事録

日時 24年2月21日(火曜日)

場所 ホテル マークワン 我孫子

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「奉仕の理想」

ゲスト: キム・ボヒョン(米山奨学生)

## 会長挨拶

志賀会長



今日は朝からバス4台の200人位の団体さんが来られて、着替える時間がなく、こんな格好で申し訳ありません。

先日のIMの出席者の方々はありがとうございました。ご苦勞様でございました。有意義なIMだったと思います。5年以内の新人の方の中から、服部様に自己紹介、入門の動機、今後の方針等を語っていただきました。ありがとうございました。

## 親睦委員会報告

小池親睦委員長



来週28日に味すゞ亭で18時30分より家族夜間移動例会を行います。参加者は今のところ23名です。まだ席がありますので、ぜひ皆さんご参加ください。バスの時間は後ほどファックスでお送りします。

また、急遽、その日の昼間にゴルフをしようということになりまして、現在12名参加予定です。まだ空いておりますので、ぜひご参加ください。

## 出席報告

渡辺出席委員長

27名出席(全員で27名)出席率92.3%

## 社会奉仕委員会報告

野田社会奉仕委員長



単身者による懇親会を3月10日にクレストホテルで6時から2時間ということで企画しています。女性がかかなり多いということですので、ぜひご協力の方をよろしく願います。当日のスケジュールについては新人の方を中心に動いていますので、企画等をのちほどご報告致します。

## 幹事報告

丸田会員幹事代行



- ・3月のロータリーレート 1ドル=78円
- ・ガバナー事務所より復興支援情報ニュースが届いています。  
「山田町へ灯りを!通学路へのソーラー街頭設置」  
「復興カキオーナーになって被災漁協に応援を!」の2点が復興ニュースで来ています。
- ・米山奨学生受入れは、受入れ奨学生の数より多くのクラブより応募をいただき、いっぱいになったとのことで、今回はありがとうございました。
- ・例会変更  
柏西RC 3月23日(金)移動例会 第2回インターゴルフ及び夜間例会
- ・公益財団法人ボーイスカウト日本連盟より募金のお願いが来ていますが、理事会にかけずにお断りする事になりました。

## ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
荒井会員	写真ありがとうございます。	1,000円
今井会員	長期間欠席させて頂きました。	1,000円
上村文明会員	会員 写真ありがとうございます。	2,000円
小池会員	写真ありがとうございます。	1,000円
志賀会長	写真をもらいました。	1,000円
野田会員	写真ありがとうございます。	1,000円
星野会員	写真ありがとうございます。	1,000円
丸田会員	長男夫婦が長女を出産しまして孫が3人になりました。	1,000円
		当日計 9,000円
		今期累計 172,000円

## 卓話「永遠のライバル、ニコンとキャノン」

キム・ボヒョンさん



今日は自分の趣味であるカメラについてお話します。

最初はニコンとキャノンの二人が協力してカメラを作りました。ハンザキャノンというカメラです。ニコンがレンズを作り、キャノンがボディを作りました。

ニコンはコンタックスを真似し、キャノンはライカを真似して、カメラを作り始めました。ニコンのFというモデルは世界的に認められました。1980年代までニコンが1番で、キャノンが2番目でしたが、キャノンが全てが電気式のEFモデルのカメラを売り出してから、ニコンが負け始めました。デジタルカメラになって、キャノンが1位になってきました。世界で20%以上のシェアをキャノンが持っています。2位のサムソンは19%、3位のソニーは17%、4位のニコンは11%です。サムソンとソニーはコンパクトカメラで勝負しています。

ニコンはFマウントとカメラ本来の機能にこだわりすぎたことが敗因と言われています。キャノンは、新しい技術があったらカメラに入れてみるという冒険精神と、利用者にわかりやすいラインナップを作った事が勝因と言われています。エントリーモデル、アマチュアモデル、ハイアマチュアモデル、プロモデルを作り、ビギナーズからプロまで吸収しています。

2007年度末頃、フルフレームカメラとしてニコンはD700、ソニーはa900を発売し、キャノンを追い抜くと思われていたのですが、キャノンは5D Mark IIを発売し、それが動画撮影機能を持っていた事から、ニコンとソニーのカメラは売れなくなってしまいました。

2年前からミラーレスカメラという小型で軽量のカメラをパナソニック、オリンパス、ソニーが発売し、エントリーユーザーを確保しました。ニコンもJ1、V1というミラーレスカメラを作りましたが、評判はよくありません。キャノンはミラーレスではなく、コンパクトカメラ自体にSLR（一眼レフ）カメラのセンサーを入れたG1Xというカメラを作りました。コンパクトカメラなのに、暗い所でミラーレスよりきれいに撮れます。このG1Xによって、またニコンはダメージを受けました。

キャノンの冒険精神、ユーザーにわかりやすいラインナップを見て、私は緑地を計画することを勉強していますが、どんなにいい計画を立てても市民の方達がわからなければ成功できないし、一緒にやる事ができないと思いました。都市の緑地計画も自然な緑地を作らないといけない、人が勝手に入って利用してはいけないという考え方の学者たちがいる一方、人が利用するために緑地を作るのは当たり前で、屋上や壁面も緑化するべきだと主張している学者達があります。本来のことにこだわりすぎると、都市の中で緑地を作る事は出来ません。将来のためにも、作れる所には緑地を作って行くことが大事なのではと私は思います。

## 我孫子市の焼却煤について

今井会員



しばらくぶりに例会に参加させていただきました。

統轄地域内では放射性濃度の件で、焼却煤の灰をどこへ持って行こうか県の方に申し入れています。手賀沼下水処理場の空き地に保管してはという話が県の方から来ましたが、我孫子市議会の方では反対の決議がされました。議員の皆さんに、焼却煤の保管方法、放射性濃度等をしっかりと話し合っただき、市長の方から説明していただき、その後に判断していくのがよいのではと思います。

我孫子市では、濃度は低いのですが、放射線を含んでいる焼却煤が我孫子市焼却場の近くに毎日、野積みされています。それをどう保管して行くか、地域の方達に説明している所です。放射線を低減させる方法を一日も早く科学者の方達に見つけて欲しいと思います。それまで、皆様方にもご理解いただき、ご協力をいただければと思います。



例会風景

ロータリーの友 事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp)  
 メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村力コンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。